

施策評価シート

施策等名称	男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり	体系番号	0602010101
		主管課	生涯学習課

1 施策基本情報

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 茅野市男女共同参画基本条例に基づき、これまで2次にわたる「茅野市男女共同参画計画(はつらつプラン21)」により、男女共同参画社会の実現に向け、各施策を推進してきました。 性別による固定的な役割分担意識は徐々に減っていますが、地域・職場・家庭において多くの課題が残されており、継続した取組が求められています。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	男女がお互いの人権を尊重し、性別に基づいた固定的役割分担意識を解消するため、地域・家庭・職場・学校などのあらゆる分野において男女共同参画の必要性を啓発し、意識づくりを進めます。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
	①	「男女共同参画社会」という言葉の認知度	%	58.00	
②	茅野市男女共同参画推進大会参加者数	人	112		150
③	「男性は仕事、女性は家庭」という意識を持つ人の割合	%	38.00		20.00

施策の柱 1	名称	男女共同参画の視点に立った意識づくり		主管課	生涯学習課		
	詳細	男女がお互いを理解し、相手の人権を尊重しつつ責任を分かち合い、個性と能力を発揮するため、市民一人ひとりが男女共同参画の意義や必要性についての理解を深めます。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	
	1	茅野市男女共同参画推進大会参加者数	人	112	150	1 男女共同参画推進事業	実施
	2	男女共同参画に関連した講座の参加者数	人	118	200	2 家庭教育センター運営事業費	実施
	3					3	

基本政策間連携

施策の体系	名称	学校等における教育・学習の充実		主管課	生涯学習課		
	詳細	次代を担う子どもたちが、男女共に個性と能力を発揮し、主体的に進路を選択できる力をつけるため、学校等における教育・学習活動を推進します。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	
	1	家庭・教育専門部会による学校等への啓発活動の実施	数値目標は定めませんが、部会において啓発内容を検討し実施する。			1 男女共同参画推進事業	実施
	2					2	
	3					3	

基本政策間連携

施策の柱 3	名称			主管課			
	詳細						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	
	1					1	
	2					2	
	3					3	

基本政策間連携

施策等名称	男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり	体系番号	0602010101
		主管課	生涯学習課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	「男女共同参画社会」という言葉の認知度	58.00	-	-	-	-	
1		95.00	未調査	未調査	未調査	#VALUE!	0.00
変動要因等	2018年度	5年ごとに実施する男女共同参画に関する調査により認知度を確認するため、数値は計画策定時のままとする。次回の調査は、令和3年度(2021年度)の予定。					
	2019年度	5年ごとに実施する男女共同参画に関する調査により認知度を確認するため、数値は計画策定時のままとする。次回の調査は、令和3年度(2021年度)の予定。					
	2020年度	5年ごとに実施する男女共同参画に関する調査により認知度を確認するため、数値は計画策定時のままとする。次回の調査は、令和3年度(2021年度)の予定。					
	2021年度	5年ごとに行う男女共同参画に関する調査を実施した。調査集計は翌年度になるため、数値は計画策定時のままとする。					
	2022年度						
施策	茅野市男女共同参画推進大会参加者数	112.00	94.00	90.00	137.00	134.00	
2		150	62.67	60.00	91.33	89.33	0.00
変動要因等	2018年度	子ども向けの内容としたため、親子連れの参加者は増えたが、大人の参加者が減少した。					
	2019年度	開催時間の制限等により、内容が限定されたため、参加者が少なかった。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として推進大会は中止になったが、それに代わる事業とし男女共同参画をテーマにした川柳には、多くの応募があった。					
	2021年度	コロナウイルス感染拡大防止の観点から、人を集めて行う大会形式での開催は困難。昨年度に引き続き男女共同参画をテーマにした川柳の募集を行い、多くの応募があった。					
	2022年度						
施策	「男性は仕事、女性は家庭」という意識を持つ人の割合	38.00	-	-	-	-	
3		20.00	未調査	未調査	未調査	#VALUE!	
変動要因等	2018年度	5年ごとに実施する男女共同参画に関する調査により割合を確認するため、数値は計画策定時のままとする。次回の調査は、令和3年度(2021年度)の予定。					
	2019年度	5年ごとに実施する男女共同参画に関する調査により割合を確認するため、数値は計画策定時のままとする。次回の調査は、令和3年度(2021年度)の予定。					
	2020年度	5年ごとに実施する男女共同参画に関する調査により割合を確認するため、数値は計画策定時のままとする。次回の調査は、令和3年度(2021年度)の予定。					
	2021年度	5年ごとに行う男女共同参画に関する調査を実施した。調査集計は翌年度になるため、数値は計画策定時のままとする。					
	2022年度						
柱1	茅野市男女共同参画推進大会参加者数	112	94	90	137	134	
1		200	47.00	45.00	68.50	67.00	0.00
変動要因等	2018年度	子ども向けの内容としたため、親子連れの参加者は増えたが、大人の参加者が減少した。					
	2019年度	開催時間の制限等により、内容が限定されたため、参加者が少なかった。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として推進大会は中止になったが、それに代わる事業とし男女共同参画をテーマにした川柳には、多くの応募があった。					
	2021年度	コロナウイルス感染拡大防止の観点から、人を集めて行う大会形式での開催は困難。昨年度に引き続き男女共同参画をテーマにした川柳の募集を行い、多くの応募があった。					
	2022年度						
柱1	男女共同参画に関連した講座の参加者数	118	104	117	10	23	
2		200	52.00	58.50	5.00	11.50	0.00
変動要因等	2018年度	昨年度と比べ、講座の回数が1回減ったため、参加者数が減った。現体制ではこれ以上講座を増やすことは難しい。					
	2019年度	講座の周知により、昨年度と比べ、参加者は増えた。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、講座の開催ができなかったことによる参加者数の減少。					
	2021年度	コロナ禍のため、講座開催が慎重となり昨年同様の講座を開催した。講座の周知により、昨年より参加者数が微増となった。					
	2022年度						
柱2	家庭・教育専門部会による学校等への啓発活動の実施	-	-	-	-	-	
1		-	-	-	-	-	-
変動要因等	2018年度	数値目標は定めていないが、男女共同参画について考える機会として、市民を対象に男女共同参画をテーマにした川柳を募集した。41人から124句の応募があり、入賞作品は茅野市男女共同参画推進大会において表彰し、ホームページで公表した。					
	2019年度	数値目標は定めていないが、男女共同参画について考える機会として、市民を対象に男女共同参画をテーマにした川柳を募集した。53人から132句の応募があり、入賞作品は茅野市男女共同参画推進大会において表彰し、ホームページで公表した。					
	2020年度	数値目標は定めていないが、男女共同参画について考える機会として、市民を対象に男女共同参画をテーマにした川柳を募集した。今年度は男女共同参画推進大会に代わる事業として実施し137人から273句の応募があった。学校にも働きかけを行ったことで、学校数値目標は定めていないが、男女共同参画について考える機会として、市民を対象に男女共同参画をテーマにした川柳を募集し、134人から296句の応募があった。学校にも働きかけを行ったことで、学校単位での応募があった。					
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり	体系番号	0602010101
		主管課	生涯学習課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年(前年度比)		2019年(前年度比)		2020年(前年度比)		2021年(前年度比)		2022年(前年度比)	
投資額	事業費(円)	10,212,698		9,920,412	0.97	7,370,074	0.74	6,103,194	0.83		
	うち一財(円)	4,872,198		4,482,012	0.92	2,463,574	0.55	505,144	0.21		
	増減理由(一般財源前年度比±10%以上の場合に記載)					・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議や行事等を中止したため、前年度に比べ事業費が減となった。		・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議や行事等を中止したため、前年度に比べ事業費が減となった。			
進捗評価		やや遅れている		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調			
総合評価	主な取組内容や成果	・幼い頃からの意識づくりが大切との観点から、茅野市男女共同参画推進大会の内容を決定し実施した。 ・男女共同参画を考える機会として、市民を対象に男女共同参画をテーマにした川柳の募集を行った。小中学校を通じた周知に力を入れたため、多くの小学生から応募があった。		・推進大会において、区・自治会アンケート結果を報告することで、区・自治会の現状を参加者に伝え、課題について問題提起することができた。 ・男女共同参画に関連した講座について、周知により、参加者が増えた。		・コロナウィルスの感染拡大防止のため、推進大会としての活動はできなかったが、例年実施している男女共同参画をテーマにした「川柳」の募集に力を入れて実施した。幼い頃からの意識づくりが大切と小中学校へ依頼した結果、多くの小学生から応募があった。		・コロナウィルスの感染拡大防止のため、今後も大会形式での開催は困難だが、例年実施している男女共同参画をテーマにした「川柳」の募集に力を入れて実施した。幼い頃からの意識づくりが大切と小中学校へ依頼した結果、多くの小学生から応募があった。			
	課題	・茅野市男女共同参画推進大会の参加者を増やすためには、内容の検討が必要である。 ・市民に対し、男女共同参画を考える機会を提供し、情報発信していくことが必要である。		・男女共同参画社会づくりを推進するための活動として推進大会を開催しているが、推進大会のあり方を再検討し、実施することが必要である。		・男女共同参画社会づくりを推進するための活動として推進大会を開催しているが、コロナ禍により、人を集めて開催することが困難な状況のため、推進大会のあり方を再検討することが必要である。		・コロナ禍のため、人を集めて行う大会形式での開催は困難。今後、男女共同参画社会の推進のために、どのような活動がより有効なのか検討が必要。			
改革・改善	改革・改善内容	・茅野市男女共同参画推進大会は毎年開催するため、その年の目標を定め、対象者や内容を検討する。 ・川柳の募集方法を見直す。意識づくりのための方法を検討する。		・推進大会はあり方を検討した上で実施する。県の補助金を活用する。		・コロナ禍により、大勢が集まる大会の開催は困難。今後は、男女共同参画を推進するために、継続して実施できる事業を男女共同参画推進委員会と検討する。		・男女共同参画推進のため、啓発活動も兼ね、茅野市男女共同参画のロゴマークを募集し決定した。今後は、このロゴマークを活用し啓発活動を行うなど新たな展開が考えられる。			
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1	1	2	2	2	2	2	2	
		重点事務事業	1	1	1	1	1	1	1	1	
理由	・茅野市男女共同参画推進大会は、市民に対し、男女共同参画について考える機会を提供し、茅野市の取組を発表する場である。多くの方に参加してもらうため、大会内容を検討し実施する。		・茅野市男女共同参画推進大会は、市民に対し、男女共同参画について考える機会を提供し、茅野市の取組を発表する場である。大会のあり方や内容を検討した上で実施する。		・男女共同参画社会づくりを推進するために、男女共同参画に関する川柳の募集などを行い、市民に男女共同参画を考える機会を提供する。		・男女共同参画社会づくりを推進するために、男女共同参画に関する川柳の募集などを行い、市民に男女共同参画を考える機会を提供する。				

作成担当者	田中美和	田中美和	今井祐子	今井祐子	
最終評価責任者	平出信次	北沢政英	北沢政英	北沢政英	
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月10日	2021年5月28日	2022年5月30日	